

科目名	適正飼養指導論 I 1	必修 選択	必修 選択必修 選択等	年次	1	担当教員	羽場智子
学科・コース	動物看護科3年制	授業 形態	講義・演 習・実習等	総時間 (単位)	45 1		
教員の略歴	獣医師(動物病院勤務)						
授業の学習 内容	愛玩動物看護師として必要な愛玩動物の知識を身に付けます 愛玩動物の適正飼養について学び、実践するための知識を身に付けます 動物管理行政について学びます 適正飼育を学び、動物飼育を実践します。						
到達目標	1. 愛玩動物について知り、愛玩動物飼育の恩恵・問題点・ペットロスについて知ることができる 2. 愛玩動物の適正飼養について学び、実践・指導することができる 3. 災害危機管理についてしその支援ができる 4. 動物愛護管理行政について学び、愛護センターの仕事内容や動物取扱業について知ることができる						
評価方法と基準	1. 定期試験: 50% (状況によって60%まで変更もありえる) 2. 提出物及び確認テスト: 30% (状況によって40%まで変更あり・提出物の内容により5点までの減点) 3. 出席率・授業中の態度&参加意欲: 20% ※感染症によるオンライン授業等になった場合は、上記以外の変更もありえます						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	オリエンテーション実施	愛玩動物看護師に向けて目標を設定する
2		講義	飼育当番について内容を知り理解できる①	飼育マニュアルの熟読と理解
3		講義	飼育当番について内容を知り理解できる②	飼育マニュアルの熟読と理解
4		講義	愛玩動物について知ることができる 動物飼育を実施できる①	授業ノート及び配布プリントの熟読 確認テストに向けての勉強
5		講義	愛玩動物飼育による恩恵と問題点について理解 できる 動物飼育を実施できる②	授業ノート及び配布プリントの熟読 確認テストに向けての勉強
6		講義	ペットロスについて知ることができる 動物飼育を実施できる③	授業ノート及び配布プリントの熟読 確認テストに向けての勉強
7		講義	ペット飼育の問題点と終生飼育についてしること ができる 動物飼育を実施できる④	授業ノート及び配布プリントの熟読 確認テストに向けての勉強
8		講義	動物取扱業における適正飼育について知ること ができる① 動物飼育を実施できる⑤	授業ノート及び配布プリントの熟読 確認テストに向けての勉強
9		講義	動物取扱業における適正飼育について知ること ができる② 動物飼育を実施できる⑥	授業ノート及び配布プリントの熟読 確認テストに向けての勉強
10		講義	犬・猫の適正飼育について知ることができる 動物飼育を実施できる⑦	授業ノート及び配布プリントの熟読 確認テストに向けての勉強
11		講義	災害時の同行避難の意義と重要性について知る ことができる 動物飼育を実施できる⑧	授業ノート及び配布プリントの熟読 確認テストに向けての勉強
12		講義	災害時の愛玩動物看護師の役割 動物飼育を実施できる⑨	授業ノート及び配布プリントの熟読 確認テストに向けての勉強
13		講義	今までの総確認をすることができる 動物飼育を実施できる⑩	授業ノート及び配布プリントの熟読 前期試験に向けての勉強
14		試験	前期試験の実施(筆記)	試験問題のやり直し
15		講義	振り返り	誤答の再確認

準備学習 時間外学習 授業ノート・配布プリント・教科書の熟読・確認テストに向けての勉強

【使用教科書・教材・参考書】

動物看護の教科書第 巻・配布資料・ホワイトボード
動物が参加する実習時は身だしなみなど飼育当番と同様とする

科目名	動物内科看護学実習 I 2	必修 選択	必修・選択必修 ・選択等	年次	2	担当教員	横山 昌美
学科・コース	動物看護科3年制	授業 形態	講義・演習・実 習等	総時間 (単位)	45 1		
教員の略歴	認定動物看護師 複数の動物病院にて勤務経験あり						
授業の学習 内容	内科診療の検査や看護に必要な手技、検体の採取方法や取り扱い、所見の記録などの技術を身につけ、『動物内科看護学』の知識の定着を図ります。						
到達目標	①各検査に使用する機器の名称、準備する医材、機器の取り扱い方法を理解する ②各検査に必要な保定技術を習得する ③各検査を行う理由となる症状を理解し、検査や看護方法の計画ができるスキルを身につける						
評価方法と基準	1) 定期試験 70% 2) 出席率 20% 3) 授業態度 10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義+演習	眼科検査について理解し、必要な技術を習得する	授業ノートを見直す
2		講義+演習	眼科検査について理解し、必要な技術を習得する	授業ノートを見直す
3		講義+演習	歯科について理解し、必要な技術を習得する	授業ノートを見直す
4		講義+演習	歯科について理解し、必要な技術を習得する	授業ノートを見直す
5		講義+演習	入院管理について理解し、必要な技術を習得する	授業ノートを見直す
6		講義+演習	食事管理について理解し、必要な技術を習得する	授業ノートを見直す
7		講義+演習	調剤について理解し、必要な技術を習得する	授業ノートを見直す
8		講義+演習	経口栄養管理、経カテーテル尿量測定について理解する	授業ノートを見直す
9		講義+演習	抗がん剤症例、救急症例、緊急対応について理解する	授業ノートを見直す
10		講義+演習	在宅療法、ターミナルケア、エンジェルケアについて理解する	授業ノートを見直す
11		講義+演習	症例看護計画(各症例に必要な検査を予測し、看護計画を立てる)	授業ノートを見直す
12		講義+演習	症例看護計画(各症例に必要な検査を予測し、看護計画を立てる)	授業ノートを見直す
13		講義	1~12週までの授業内容を復習する	授業ノートを見直し、わからない部分を把握し、復習する
14		講義	筆記試験	試験範囲の復習
15		講義	試験問題の解説を通してこれまでの授業を振り返る	試験で間違った部分の復習
準備学習 時間外学習		授業ノートを整理、復習し、新しい言葉は調べる		
【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具・ノート・動物看護の教科書第5巻				

科目名	グルーミング演習 I 1	必修 選択	必修・選択必修・ 選択等	年次	1	担当教員	廣瀬
学科・コース	動物看護科3年制	授業 形態	講義・演習・実習 等	総時間 (単位)	15 1		
教員の略歴	TCAペットリマール科卒、TCAトリマールアシスタント、ドッグサロンティアラ、goodyone、nunoclub勤務						
授業の学習 内容	“グルーミングは、ワンちゃんが健康的な生活を過ごす為に必要不可欠な授業です。この授業は、グルーミングする上での基礎知識・用語が理解できるように講義と演習を行います。犬種に合わせたグルーミング方法・犬に合わせたコントロールを実習で学び、多くのペット業界で役立つグルーミング知識と技術を習得します。ワンちゃん、オーナー様の為になるよう正しいやり方を学ぶ努力をし、学習してください。”						
到達目標	1)グルーミングがしやすいように犬をコントロールすることができる 2)グルーミングツールを正しく扱える						
評価方法と基準	1. 定期試験:100%(筆記試験を実施) 今まで学んだグルーミングについての筆記試験を行う。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	グルーミングの注意点を学び、安全に演習を行えるようになる	その日に学んだことを配布されたプリントを参考に復習する
2		講義	グルーミング時の犬への接し方について学び、犬の気持ちを考えられるようになる	その日に学んだことを配布されたプリントを参考に復習する
3		講義	グルーミングツールについて学び、種類を覚えることができる	その日に学んだことを配布されたプリントを参考に復習する
4		講義	皮膚、被毛、シャンプーについて学び、今後のグルーミングにいかすことができる	その日に学んだことを配布されたプリントを参考に復習する
5		講義実習	小型犬で講義実習を行い、グルーミングの流れを記すことができる	その日に学んだことを配布されたプリントを参考に復習する
6		講義実習	リーシュの結び方・綿棒の作り方を学び、1人で行うことができる	飼育当番で飼育犬の管理ができる
7		演習	小型犬を3～4人でグルーミングをし、メディカルチェックすることができる	飼育当番で飼育犬の管理ができる
8		演習	小型犬を3～4人でグルーミングをし、グルーミングの流れを理解できる	飼育当番で飼育犬の管理ができる
9		講義実習	犬のコントロール方法を学び、コントロールすることができる	飼育当番で飼育犬の管理ができる
10		講義実習	ツールの持ち方・動かし方を学び、使い分けすることができる	飼育当番で飼育犬の管理ができる
11		演習	ペイジングのポイントを読み、ペイジングすることができる	飼育当番で飼育犬の管理ができる
12		演習	ドライイングのポイントを読み、ドライイングすることができる	飼育当番で飼育犬の管理ができる
13		演習	自己分析をし、自己評価ができる	試験に向けて学んできたことを復習する
14		試験	筆記試験	試験を受け、出来なかった点を復習する
15		振り返り	前回の演習で見た弱点にポイントをおき、弱点を克服できる	解答と説明を再度、復習する
準備学習 時間外学習			事後学習を通じてより深く学び、事前学習を行うことで授業内での学びの展開を促す	
【使用教科書・教材・参考書】グルーミングツール・筆記用具				

科目名	公衆衛生学Ⅰ 1	必修 選択	必修・選択必修・選択 等	年次		担当教員 瀬戸口公代
学科・コース	動物看護科3年制	授業 形態	講義・演習・実習等	総時間 (単位)	45 1	
教員の略歴	日本大学生物資源科学部獣医学科卒獣医師、動物病院勤務、往診専門病院開業、web記事執筆、オンライン相談等					
授業の学習 内容	環境、及び食品衛生、疫学、人獣共通感染症（ズーノーシス）について学び、それらを人の健康維持増進に役立てます。 公衆衛生学を学び、疾病予防の知識を深めましょう。					
到達目標	公衆衛生の目的、及び公衆衛生行政を学び、one health と獣医療の関係について正しい理解をすることができる。 感染の成立について学習し、疾病、健康障害の発生要因を理解することができる。 人獣共通感染症と予防法について理解することができる。					
評価方法と基準	定期試験（第14週目）60点以上で合格とする。					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	公衆衛生の目的、国民衛生の動向について理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻のP276～281の熟読と理解。
2		講義	衛生の主要指標、保健医療衛生について理解することができる。	
3		講義	公衆衛生における獣医師と愛玩動物看護師の役割について考えることができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻のP281～284の熟読と理解。
4		講義	感染管理と感染症対策について正しく理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻のP285～288の熟読と理解。
5		講義	リスクコミュニケーションを実践することができる。薬剤耐性菌について理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻のP289～291の熟読と理解。
6		講義	バイオハザード、バイオセキュリティについて説明することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻のP292～295の熟読と理解。
7		講義	疫学の発展と獣医療での重要性について理解し、疫学の指標に応用することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻のP295～304の熟読と理解。
8		講義	観察疫学と介入疫学について学習し、様々な研究のイメージを理解することができる。	
9		講義	スクリーニングとサーベイランスについて説明することができる。感染症の疫学の特徴を理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻のP304～309の熟読と理解。
10		講義	人獣共通感染症の概要を理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻のP309～312の熟読と理解。
11		講義	いろいろな人獣共通感染症について理解することができる。	愛玩動物看護師の教科書第3巻のP312～323の熟読と理解。
12		講義		
13		講義		
14		試験	前期テスト（筆記試験）60点以上合格	試験範囲からの予習と対策
15		講義	テスト振り返りでより一層の理解を深めることができる。	各自テスト問題の振り返り、復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 愛玩動物看護師の教科書第3巻 緑書房				

科目名	動物物理学療法Ⅱ1	必修 選択	必修・選択必修・ 選択等	年次	2年次	担当教員	千葉
学科・コース	動物看護科3年制	授業 形態	講義・演習・実習 等	総時間 (単位)	45時間 1単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	1年次に学んだ基礎知識を、実技に生かし、さらに、新しい知識を身に付けて行く。						
到達目標	基礎的な事柄をしっかりと自分のものとして、次段階に進むべき好奇心を持つ						
評価方法と基準	定期試験(14週目に実技試験＋筆記試験)を実施						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	理学療法的形態学3 皮膚感覚の重要性	学校犬2頭でリンパマッサージを実施し、その後の犬たちの様子を観察。
2		講義	理学療法的形態学4 関節と靭帯	テキストを再読して、各関節の位置と名称を覚えます。
3		講義	筋肉の拘縮とトリガーポイントとは	学校犬2頭の筋肉に触れ、拘縮している場所を発見し、カルテに記入
4		演習	目的のあるマッサージの方法マッサージの復習	学校犬2頭でマッサージの復習。マッサージの疑問点を提出。
5		演習	ストレッチングの理論と実習	学校犬2頭でストレッチングの復習。ストレッチングの疑問点を提出。
6		講義	エビデンスの取得方法について学ぶ	朝2h 夕2h 学校犬の飼育当番で飼育犬の管理ができる
7		講義	エビデンスの取得と記録方法	朝2h 夕2h 学校犬の飼育当番で飼育犬の管理ができる
8		講義	歩様アセスメント1 歩様アセスメントについて学ぶ	学校犬やさまざまな犬たちで、歩様をアセスメントしてみる。
9		演習	歩様アセスメント2 アセスメントしてみよう	学校犬を歩かせてみて、実際にアセスメントをしていきます。
10		講義	運動療法2 水中運動の効果と方法を学ぶ	朝2h 夕2h 学校犬の飼育当番で飼育犬の管理ができる
11		講義	運動療法3 ウォータートレッドミルの理論と機序	朝2h 夕2h 学校犬の飼育当番で飼育犬の管理ができる
12		演習	運動療法3 ウォータートレッドミルの実技	朝2h 夕2h 学校犬の飼育当番で飼育犬の管理ができる
13		演習	運動療法4 マットピラティスの効果と方法について学びます	学校犬で、マットピラティスの復習。他のメソッドを考えてみる。
14		演習	テスト	
15		演習	振り返り	前期のまとめ・復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 K9ハイドロセラピー講義用TEXT				

科目名	動物臨床検査学実習Ⅱ1	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	羽場智子
学科・コース	動物看護科3年制	授業 形態	講義 実習	総時間 (単位)	45 1		
教員の略歴	獣医師(動物病院勤務)						
授業の学習 内容	動物病院で愛玩動物看護師として自信をもって働けるよう、様々な臨床検査を正確かつ迅速に行えるようにします。 検査結果の評価も理解し、オーナーからの質問に的確に答えられるよう知識を習得します。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 『健康な動物』・『疾病動物』について知ることが出来る 臨床検査について理解し、正確に実施することが出来る 臨床検査結果について理解し、報告書を作成することが出来る 獣医師の指導のもと、オーナーへの的確な指導をすることが出来る 						
評価方法と基準	<ol style="list-style-type: none"> 定期試験:50%(状況によって60%まで変更もありえる) 提出物及び確認テスト:30%(状況によって20%まで変更あり・提出物の内容により加減あり) 出席率・授業中の態度&参加意欲:20% ※感染症によるオンライン授業等になった場合は、上記以外の変更もありえます。						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	臨床検査の検体・血清分離について再確認することができる	動物看護の教科書6巻該当項目の熟読 1年時の臨床検査学実習の知識の再確認
2		講義・実習	顕微鏡の操作について再確認できる 油浸レンズ(×1000)の操作ができる	動物看護の教科書6巻該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
3		講義	貧血の評価が出来る ニューメチレンブルー染色を知ることができる	動物看護の教科書6巻該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
4		講義	細胞診について理解出来る 細胞診の準備・検査補助が出来る	動物看護の教科書6巻該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
5		講義	微生物検査について理解出来る 微生物検査機器と取り扱いについて理解できる	動物看護の教科書6巻該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
6		講義	遺伝子検査について理解できる	動物看護の教科書6巻該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
7		講義	レントゲン検査について理解出来る	動物看護の教科書6巻該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
8		実習	レントゲン検査の準備・保定・片付けができる	動物看護の教科書6巻該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
9		講義・実習	超音波検査について理解出来る 超音波検査の準備・保定・片付けができる	動物看護の教科書6巻該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
10		講義・実習	心電図検査について理解出来る 心電図検査の準備・保定・片付けができる	動物看護の教科書6巻該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
11		講義	内視鏡検査について理解出来る	動物看護の教科書6巻該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
12		講義	CT・MRI検査について理解出来る	動物看護の教科書6巻該当項目の熟読 確認テストにむけての復習
13		講義	眼科検査について理解出来る 眼科検査の準備・保定・片付けができる	動物看護の教科書6巻該当項目の熟読 定期試験にむけての復習
14		試験	定期試験の実施(筆記試験)	試験内容の見直し 分からなかった問題のやり直し
15		実習	振り返り	誤答の再確認 各自、今後の達成に向けて課題を設定する

準備学習 時間外学習 授業ノート・配布プリント・教科書の熟読・確認テストに向けての勉強

【使用教科書・教材・参考書】

動物看護の教科書第6巻・配布資料・ホワイトボード
動物が参加する実習時は身だしなみなど飼育当番と同様とする

科目名	動物理学療法Ⅲ 1	必修 選択	必修・選択必修・ 選択等	年次	3年次	担当教員	千葉
学科・コース	動物看護科3年制	授業 形態	講義・演習・実習 等	総時間 (単位)	90時間 2単位		
教員の略歴							
授業の学習 内容	より高度な理学療法の知識を身に付ける。※4時限目は学校犬のリハビリとなります。						
到達目標	知識ばかりでなく、即、実践できるように心構え、準備等ができるところまで学ぶ						
評価方法と基準	定期試験(14週目に実技試験＋筆記試験)を実施						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	3限：ホリスティックについて学ぶ(総論) 4限：のリハビリ計画をたてる	朝2h 夕2h 学校犬の飼育当番で飼育犬の管理ができる
2		講義	3限：ホリスティック 1 リフレクソロジー 4限：プーすけのリハビリスタート	「こんなホリスティックあります」を集めてみる。
3		講義	3限：ホリスティック 2 カイロプラクティス 4限：プーすけのリハビリ①	学校犬やさまざまな犬たちの脊椎を触ってみた感想。
4		講義	3限 東洋獣医学の内容を学ぶ 1 (総論) 4限 プーすけのリハビリ②	現在行っているリハビリについて、感じることを列記する。
5		講義	3限 東洋獣医学の内容を学ぶ 2 (鍼、灸) 4限 プーすけのリハビリ③	市販の書籍を読み、特定の疾患について効果のあるツボを列記する。
6		講義	3限 棒灸を作ろう!! 4限 棒灸を使ったプーすけのリハビリ④	『よもぎ』の効果を調べる。
7		講義	3限プロトコルとは 4限プーすけのリハビリのプロトコルを見直	朝2h 夕2h 学校犬の飼育当番で飼育犬の管理ができる
8		演習	3限 プロトコルのサンプル研究 4限 プーすけのプロトコルの再構築	朝2h 夕2h 学校犬の飼育当番で飼育犬の管理ができる
9		講義	物理療法 1 温熱療法・寒冷療法を学ぶ 4限 プーすけの温熱療法⑥	病院にある設備を利用した温熱、寒冷療法を考えてみる。
10		講義	物理療法 2 超音波療法を学ぶ 4限 プーすけの再アセスメント	朝2h 夕2h 学校犬の飼育当番で飼育犬の管理ができる
11		講義	物理療法 3 電気療法について学ぶ 4限 電気療法を体験する⑦	電気療法を体験した感想
12		演習	物理療法 4 レーザー療法について学ぶ 4限 プーすけのリハビリ⑧	朝2h 夕2h 学校犬の飼育当番で飼育犬の管理ができる
13		演習	3限 プロトコルを作ってみる 4限 プーすけのプロトコルの再構築	さまざまな犬の症例でプロトコルを作ってみる
14		演習	テスト	
15		演習	振り返り	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	エキゾチックアニマルⅠⅠ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	高橋幸子
学科・コース	動物看護科3年制	授業 形態	講義	総時間 (単位)	45 1		
教員の略歴	日本初のドッグシッター&イヌの託児施設を発案、開業 小動物全般の繁殖・卸し						
授業の学習 内容	動物病院にも来院する事が増えてきた小動物の基本を学ぶ授業です。 種や品種を理解する事で、患者となる動物だけでなく飼い主の方の不安を和らげるための知識を身に付けます。 飼育される全ての動物たちが、生涯ストレスなく健康で暮らし続けられるために、飼い主様とのパイプラインを目指して学習に励んで下さい。 授業は座学ですが、実際に動物に触れ合い、感覚も養いながら授業を進めます。 ※実際に生き物を使用する授業のため、内容に変更がある場合があります。						
到達目標	ウサギの品種を識別できるようになる。 イヌとウサギを比較して考える事ができるようになる。 種の特性を理解し、ストレスフリーな扱い方の習得を目指す。						
評価方法と基準	提出物20% 小テスト20% 定期試験60% 筆記試験評価:GPA(S100~90 A89~80 B79~70 C69~60 F59~0)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	自己紹介 授業の説明と生き物を扱う上での注意事項	
2		講義	動物の分類/ウサギ目	ウサギを扱っている施設を探してみよう。
3		講義	穴ウサギの種類、種と品種について	ウサギの価格を調べてみよう。
4		講義	ウサギの体の構造と病気について	店舗で取り扱いの多い品種は何か?
5		講義	動物の分類/齧歯目	販売店のウサギはどんなケージで暮らしていたかな?
6		講義	リス亜目/モモンガ属とムササビ属	
7		講義	リス亜目/モモンガ属と有袋目	齧歯目にはどんな種がいるのか考えてみよう。
8		講義	リス科/シマリスとジリス	ムササビを見に行こう。
9		講義・演習	採食と知育玩具	リスを販売している店舗を探せるかな?
10		講義	ネズミ亜目/ハムスター	販売店のジリスはどんなケージで暮らしていたかな?
11		講義	ハムスターの体の構造と病気について	ハムスターのカラーを調べてみよう。
12		演習	ハムスターの知育玩具作り	ハムスターの価格を調べてみよう。
13		講義	前期まとめ	
14		試験	試験	
15		講義	試験の解説と夏休みの課題について	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ナチュラルケア I 1	必修 選択	必修・選択必修・ 選択等	年次	3	担当教員	西村
学科・コース	動物看護科3年制	授業 形態	講義・演習・実習 等	総時間 (単位)	45 1		
教員の略歴	ジアセラピストスクール校長 勤務歴23年						
授業の学習 内容	この授業では昨今、ペット業界でも注目されている自然療法を学ぶことにより、動物のスペシャリストとしての幅を広げ価値ある想像を作り上げていきます。また同時に日頃から家庭内のできる自然療法を飼い主に指導できる人材に育てます。そのことにより高齢化の進むペット達を健やかに暮らせるように常に考える視点を身につけます。知識だけでなく演習による「ものづくり」を行うことで業界での商品化のプロセスも学び卒業後の仕事に結びつけて考えられるようになります。						
到達目標	正しい知識を身につけ自分が学んでいることが動物のため、飼い主のためにどのように役立つのかを常に考えることができる人材になる。						
評価方法と基準	筆記試験 60% 出席数 40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	メディカルハーブの基礎知識を学ぶ①	講義内容のテキストを読み返し次回の授業内容を予習する2h
2		講義	メディカルハーブの基礎知識を学ぶ②	講義内容のテキストを読み返し次回の授業内容を予習する2h
3		講義	メディカルハーブの基礎知識を学ぶ③	講義内容のテキストを読み返し次回の授業内容を予習する2h
4		講義	メディカルハーブの基礎知識を学ぶ④	講義内容のテキストを読み返し次回の授業内容を予習する2h
5		講義	動物へよく使うハーブを学ぶ①	講義内容のテキストを読み返し次回の授業内容を予習する2h
6		講義	動物へよく使うハーブを学ぶ②	講義内容のテキストを読み返し次回の授業内容を予習する2h
7		講義	動物へよく使うハーブを学ぶ③	講義内容のテキストを読み返し次回の授業内容を予習する2h
8		講義	動物へよく使うハーブを学ぶ④	講義内容のテキストを読み返し次回の授業内容を予習する2h
9		講義	ハーブを用いた実習を行い実践力をつけるようになる	作製したクリームを犬に使い検証する2h
10		講義	筋骨格系に効果的なハーブを学ぶ	講義内容のテキストを読み返し次回の授業内容を予習する2h
11		講義	消化器系に効果的なハーブを学ぶ	講義内容のテキストを読み返し次回の授業内容を予習する2h
12		演習	皮膚トラブルに効果的なハーブを学ぶ	講義内容のテキストを読み返し次回の授業内容を予習する2h
13		演習	ケーススタディを考え実践力をつける様になる	講義内容のテキストを読み返し次回の授業内容を予習する2h
14		演習	筆記試験	講義内容のテキストを読み返し次回の授業内容を予習する2h
15		演習	振り返り(前期の目標への達成を検証する)	講義内容のテキストを読み返し次回の授業内容を予習する2h
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
●動物のための植物療法学				